

## 令和2年度 第2回 宜野湾市市民協働推進審議会 会議録（要旨）

日時：令和3年2月1日（月）午後3時～午後4時半

場所：宜野湾市役所 第3常任委員会室

出席：畑中寛会長、中野謙副会長、玉城直美委員、波平道子委員、山内さとみ委員、  
山内一郎委員、與儀常貴委員、泉川幹夫委員、真鳥かおり委員

欠席：伊佐真委員

1. 開会あいさつ
2. 第一回審議会の振り返り及び本日の進め方について
3. 審議

発言者	審議内容
開会	開会
会長	<p>本日は、半数の委員が zoom での参加となっています。リモートで会議は今後も必要になってくると思います。準備も大変だったと聞いておりますが、今後も Zoom 会議は必要になってきますので、素晴らしい取り組みだと思います。</p> <p>本審議会の目的は、5年間の取り組み、達成状況や評価を確認していただき、今後の課題や施策の方向性を整理することを目的としています。</p> <p>委員の皆さまには、市民協働の取り組み、達成状況を確認していただき、今後の課題、施策の方向性について、ご意見を頂きたいと考えています。</p> <p>では、議事に入ります前に、事務局より委員の出席状況について、報告をお願いいたします。</p>
事務局	委員 10 名中、本日の出席者は 9 名、お 1 人が欠席となっております。
会長	会議規則第 6 条第 2 項に基づき、委員の半数以上が出席しておりますので、本会議は成立いたします。ではこれより議事の進行を進めてまいります。
会長	議題 1：実施計画の評価及び今後の施策について、事務局から説明をお願いします。

事務局	<p><u>議題1：実施計画の評価及び今後の施策について</u> 前半：P1～P9（過去5年間の取り組みと成果） 【資料に沿って説明】</p>
会長	<p>評価報告書の9ページまで説明頂きました。今説明された部分について、何かご質問等があればお伺いしたいと思います。</p>
委員	<p>報告書ありがとうございます。数値化されていたり、成果が可視化されて、すごく見やすくまとめられていると思います。 私は沖縄 NGO センターとして事務所を構えて18年目くらいになりますが、最近から宜野湾さんも市民協働に積極的に取り組んでいると感じています。 事務局としては、この5年間の成果をどう見られていますか。全体として市民がどう動いてきたか見えてきたものがありますか。</p>
事務局	<p>事務局として見えてきたものとして、これまでの課題として、情報収集発信、中間支援機能組織の研究、コミュニティ支援があげられていました。 前回の審議会でも、企業、大学、若い世代の連携や、情報発信の強化、情報の一元化があげられたので、地域の人たちがどのように活動をしているのかが、分かりにくいという課題があるのではないかと思います。情報の一元化をして、地域の人たちと発信主体を増やしていく必要があるのではないかと事務局として感じています。 この資料を作成して感じていることは、話し合いの場は、多くつくることができましたが、中間支援組織の育成・支援などの仕組みづくりは進めることができなかったと感じています。</p>
会長	<p>達成できてない部分も担当としてはあり、この審議の中でも検討していただきたいということなのかなと思います。</p>
委員	<p>私も上大謝名の事業に関わったのですが、自分たちの地域がどういう状況で、外から見てどのように思ったのか、ある程度分かりました。地域に住んでいるが、地域のことを知らない方も多かったです。なかなか自治会活動に参加できないと感じている方、何名かが公民館に足を運んでくれるようになりました。広報委員会の立ち上げや、オオゴマダラを飼育する活動に繋がっています。大変素晴らしい事業だと感じています。</p>
事務局	<p>それでは、引き続きご意見ご質問はありますでしょうか。</p>
委員	<p>今年度から参加させていただいているので、報告書を見て、分かりやすくまとめていると感じています。</p>

事務局	<p>気になった部分の確認ですが、中間直しをされた時点で、具体的な数値目標を設定したのでしょうか。</p> <p>それとも、数値目標は設定せず重点課題や方針を決めて、活動をしてきたということでしょうか。</p> <p>実施計画では具体的な数値目標は立ててはおりませんが、市の総合計画の中で、地域コーディネーターの数については、毎年 25 名以上、5 年間で 100 名以上を目指すという、目標値を設けております。</p>
会長	<p>では目標より上回ったということですね。それも記載してもいいかもしれないですね。他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>報告書についてですが、見やすく、素晴らしいと感じています。これは公表しないのでしょうか。</p>
事務局	<p>評価報告書については、ホームページで公表する予定です。印刷物配布等については検討します。</p>
委員	<p>地域づくり推進事業について、女性団体連絡協議会がスマホの使い方講座を行っています。</p> <p>サポートを大学生にお願いして参加していただいた。大学生からは、スマホの使い方を教えているうちに、地域と繋がりを持つことができたので、とても良かったという感想をいただいています。そういう取り組みが今後も継続できれば良いと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。宜野湾市には大学が多くありますので、大学生との関わりも増やしていきたいと、私も思っています。</p>
委員	<p>今のご意見はとても貴重だと思います。1つの事業で、地域の団体と学生のコラボ、協働ができたことは、成果だと思います。</p> <p>地域とどこかがコラボ、協働して、事業ができたということを実視化できればいいのではないかと思います。例えば吹き出しで、女団協と学生のコラボという風に記載するとわかりやすいのではないかと思います。</p>
会長	<p>関係の見せ方の提案だったと思います。工夫ができそうな感じがしますので、ぜひお願いします。他はよろしいでしょうか。</p>

事務局	<p>それでは、議題1：実施計画の評価及び今後の施策について、の後半部分について事務局から説明をお願いします。</p> <p><u>議題1：実施計画の評価及び今後の施策について</u> 後半：P9～最後まで（過去5年間の達成度・評価） 【資料に沿って説明】</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、実施計画書の後半について、何かご質問・ご意見等があればお願いします。いかがでしょうか。評価の指数や内容、課題についてご意見があれば、お願いします。</p>
会長	<p>おおむね、このような評価内容でよろしいでしょうか。休憩前にもご意見を頂きましたので、特にないようでしたら、今後についての議事に移っていきたいと思います。まずは、資料5について、事務局の方からご説明を頂いて、委員の皆さまにご意見を頂くという形でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>それでは、事務局より説明いたします。資料5をご覧ください。これまでの審議会で出された、今後重点的に取り組むべき3つの課題が掲載されています。情報収集発信、中間支援機能組織の研究、コミュニティ支援を推進するうえで市民協働推進課が行うべき施策や、審議会の中で協働して取り組める事例など、ご意見を頂きたいと考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。報告書の35ページにあります、今後取り組むべき課題について、資料5に沿って、ご意見を頂きたいと思います。</p> <p>ご自身の関わっている団体でできそうなこと、審議会ですべてほしいこと、今後に向けての提案などを頂ければと思います。</p>
委員	<p>NGOセンターを設立して20周年を迎えました。中間支援だけでやっていくのは大変難しいです。NGOセンターは、中間支援のほかに、事業主体として運営しています。</p> <p>これまで、那覇市、糸満市、沖縄市などの中間支援組織のミーティングにも参加してきました。いろいろなお話を聞いてきたなかで、中間支援を行政がやっていくのは厳しいと感じています。</p> <p>KIPという沖縄市の中間支援施設の指定管理を受託しています。NGOセンターの利益はほとんどない状態です。市民団体からすると中間支援機能を持った組織があると便利ですが、経営は大変です。</p> <p>行政が単独で中華支援施設の運営を行うのは困難だと思います。</p>

<p>会 長</p>	<p>これまで県内でやってきたような中間支援の在り方は難しいと思います。 会議室、メールボックス、情報発信する機能は必要なのかとは思いますが。 体力のある市民団体と協力しながらやっていくのはありなのかと思います。</p> <p>ご自身の経験から中間支援の在り方に関するご意見ありがとうございます。事務局で反映させられるところがあるか検討していただくようにしたいと思います。他の委員はいかがでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>情報収集発信について、大学のゼミ活動を通して子ども食堂のサポートに取り組んでいます。学生が作ったプランを持って、子ども食堂にプレゼンテーションに行くという形で交流をしています。</p> <p>その中でお聞きしたことは、特に支援の対象となるような子どもの情報を得るのが難しいということです。また、小学校との連携が難しく、マッチングができるデータベースがあると良いのではないかと思います。</p> <p>子どもの問題や福祉に関わってくれる人が人事異動などがあると情報や技能が定着しづらいという課題があります。人間関係の構築をやり直さないといけないという話がありました。</p> <p>コミュニティ支援についてですが、大学のゼミ活動との連携ができるの良いのではないかと思います。</p> <p>地域問題をリスト化、優先順位をつけたものがあれば、関心のある学生がゼミ活動や卒業研究のテーマとして取り組むことができるのではないかと考えています。</p>
<p>会 長</p>	<p>事務局としては、意見をお聞きするというところでよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、意見を集約して、次年度以降の施策に反映できるように検討したいと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>社会福祉協議会はボランティア活動も事業の一つなので、何かできないか思いました。大学とも協力しながら上大謝名自治会と取り組みをさせて頂いています。</p> <p>高齢者福祉、移動、送迎というところも課題として挙がっていますので、学生さんの力を得ながら活動できたらと思っています。</p>
<p>委 員</p>	<p>女性団体連絡協議会は、何をしている団体なのかわからないという声もあります。私たちとしては、男女共同参画推進しているので、そういう形でも発信していきたいと思っています。</p> <p>自分たちだけではできないという課題があるので、学生さん、</p>

<p>委 員</p>	<p>企業と連携ができればなと思っています。</p> <p>投げかけになりますが、2 ページをご覧ください。それぞれ団体をつなぐ、中間支援機能を考えてみました。私は児童館で卓球の指導をしています。これまで運動は運動、学習は学習と別々にやっており、以前から、一緒にできないかと考えていました。児童館には、運動するところ、学習するところ、厨房もあります。</p> <p>そこで中間支援をFMぎのわんさんにやってもらって、学習を教えるところを探してもらったり、企業に資金提供を呼びかけなどそういったことができないかと考えています。</p> <p>塾で学習するだけでなく、学習と運動と食事を一緒にできる場所として自治会が活用できるのではないかと考えています。あくまでも投げかけでした。</p>
<p>会 長</p>	<p>中間支援組織について、FMぎのわんが担うことができるのではないかとご提案がありましたけれど、いかがでしょうか。</p>
<p>委 員</p>	<p>情報収集・発信についてですが、情報収集がとても大変だと感じています。自治会だけでも23区あります。FMぎのわんのスタッフだけでは担えないので、市が中間支援組織と認識してもらえたら、情報が集まってくるのかなと考えています。情報収集の方法を考えられると、情報ステーションの案が進むのかなと感じています。</p> <p>中間支援組織の研究ですが、前回話題の出た情報ステーションをぜひやりたいと思っています。</p> <p>経済団体、企業、自治会ともつながっているので、いろんな分野でマッチングができるのかなと考えています。</p> <p>人員がどうしても必要で、少なくとも役所に常駐できるぐらい人員が必要です。今の企業体力では難しい面もありますが、社協さんや委員の皆さまとも連携してできそうだなと感じています。</p> <p>コミュニティ支援について、先ほど委員から出た、自治会の形はすごくいいと思っています。自治会加入率が100%になるのは難しいと感じています。その中で新しいコミュニティの形、未来の形を見せてみるというのが大事になると考えています。そうすることで若い世代の参加も進むのかなと思います。</p> <p>また、企業との連携に関して、企業を繋ぐ場合、企業側のメリットを考えていかないといけないと思います。地域の場に参加したのですが、地域を助けてくださいという形になっている。そうではなくお互いwinwinになる形を考えていく必要があると思います。是非私たちがやりたいと考えています。</p>
<p>会 長</p>	<p>他の委員の方はいかがでしょうか。</p>

委 員	<p>可能であれば、宜野湾市のホームページに市民団体の一覧、を設けて頂くと市民の方も見やすいのかなと思います。</p> <p>フェイスブック、インスタなどお互いにフォローするなど情報も発信していけるのかなと思います。</p> <p>地道に情報発信をしていくしかないのかなと思います。</p> <p>そうすることで、マッチングや連絡がしやすくなる面もあるので、情報が集約する場があればいいのかなと思いました。</p>
会 長	<p>他の委員の方はいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>生涯学習課では社会教育団体があります。婦人連合会、青年連合会、どの団体も会員が減少しています。団体だけの力では厳しいところもあるので、自治会も一緒になってできることがあるのではないかと思います。</p> <p>リーダーが集まるような勉強会を行い、自治会が活性化すると加入も増えていくのかなと思います。</p> <p>公民館の講座を自治会で企画するように推進していますが、地域の中で企画して、若いメンバーが集まれば、自治会に加入してくれる人が増えていくのではないかと思います。</p> <p>マッチングができないまま、どんなふうに繋げていいのかわからないという行政の課題でもあります。</p>
会 長	<p>全国的に自治会加入率は厳しい状況にあるので、どうやって新しい形にリニューアルしていくかを考える必要があるのではないかと思います。</p>
委 員	<p>自治会も高齢化していきます。ミニデイサービスを週1回しかしていないので、もったいないと思っています。</p> <p>地域でデイサービスを立ち上げて作っていくことで、高齢化を乗り越えていけるのではないかと思います。</p> <p>自治会加入のメリットの一つになるのではないのでしょうか。</p>
会 長	<p>若い人だけでなく、お年寄りもということですね。</p> <p>私も琉球大学として、地域と連携、協力していきたいと考えています。大学生は宜野湾市のことを知らないので、授業を通じて発信できればと考えています。琉球大学では提案型の授業を実施しているので、宜野湾市に対して提案していく授業を引き続きやっていきたい。</p> <p>コミュニティ支援は、地域公共政策研究会の活動を通して宜野湾の活性化を図る活動を進めています。大学をうまく活用して連携を図っていければなと思っています。</p>
委 員	<p>自治会でのミニデイサービスは週1回ですが、体操サークルやカラオケサークルなどとの連携して実施できないか検討していきたいと思っています。</p>

事務局	<p>事務局として、多様な人材が交わる場所がとても大事なと感じています。Winwinな関係、人と人が交わる場づくりをしていくことが大切だと感じています。今後とも審議会委員の方ともつながっていきたいと思っています。</p>
会長	<p>委員の皆さま、ご意見ありがとうございました。今後も3つの課題、これまで達成が難しかった部分だということなので、今日頂いた意見も盛り込んでいただきながら、引き続き進めていきます。</p> <p>それでは、本日の次第は以上となります。会の進行を事務局へ戻します。</p> <p>4. 閉会</p>